平成 23 年度事後評価・決算 事務事業マネジメントシート ^{平成 24 年 11 月 19 日時期}											口吋黑					
	事務	コード1	1045	育児支援事業					課	健康管理課]			
	事業名	コート*2	4	親子遊び教室					所属班		支援班		ļ			
	直:	▲ 1 1 2 本方針	3	健やかでやすらぎのあるま	たべ				争耒	電話番号 予算	57-311	13 内線 会計		款	項	
拯		施策	1	保健の充実	. •))	\' <u>'</u>				科目		一般会計	ŀ	امم 04	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	03
	施泉 施泉 系 施策の展開			母子保健の充実					根拠			全障害者?			0.0	
		本事業	_	育児支援事業						法令	母于保 》	是 伝、	EI早吉有。	又饭伍		
	現状把		o)													
(1)事業概要 ① 事業期間					のよう	にする事業なの	か、市民	民が理解	弾でき	るよう記さ	述する、行	」 政用語	は使わなし	۸,		
1歳6か月児健診や育児相認																
☑ 単年度繰返 育士、心理相談員、保健師																
図 平成 7 年度~ 要な方には、医療機関や療行 保健師が訪問・電話等を行い													市の市バヘノ	りには、凡	E 전 1보 크	
<u></u>													-			
L	期間限別			【業数の添わ】												
平成年度~ 【業務の流れ】 平成 年度まで 会場準備⇒受付⇒親子の自					自由:	遊び(面接や相談	炎を随時	持行う)=	お片	づけ⇒朝	の会⇒罷	次、体操=	からだを	使った親	子遊び(フラフー
				プなど)→休憩→制作、紙		、保護者に今日の)感想を	記入し	ていた	たく→キ	3帰りの会	⇒スタップ	フカンファ	レンス→	入力処理	!、業務
L				報告⇒欠席者へ電話確認												
(2	<mark>2)トータ</mark>) 事業費	ルコス	ト 1/	笙\						単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	時雇賃						B.	」国庫	支出:	金 千円	(次昇)	(人子)	97	(前四/	(計画)	
消	耗品費			24千円			事源	都道府	県支出	金千円						
計	r 育児支援	4 米 本		217千円			業内	内 <u>地</u>	方債 の他	千円 千円	 					
()	月冗又协	マ 尹 来 り	(糸刀)				費割	尺	设制源 投財源	<u> </u>	605	218	120	285		
	〕延べ業							事業費	計(A	() 千円	605	218	217	285		
				【当日】教室運営 【事後】約	吉果訂						0.10	0.10	0.10	0.10		
席	「者への	電話ファ	十口一7	など・・・計192時間				<u>延へ</u> 果 人件費			192 730	192 730	192 730	192 730		
								タルコス				948	947	1,015	ď	-
(:	3)事務事	事業の	手段・ほ	目的・上位目的及び対応す	る指											
(3			手段・	目的・上位目的及び対応す	1. [21年度		23年度			26年度
(3	①主な	活動			1. [票 〕活動指標名 【				単位	21年度(決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
(3	① 主な 23年度	活動 実績(2	23年度	に行った主な活動)	⇒ ©					単位						
	① 主な 23年度 教室を 度当初	活動 実績(2 月2回紀 は中止	2 3年度 継続的 となっ	に行った主な活動) に実施。(震災の影響で年 た。6月から再開)対象者	→ ⑤	活動指標名					(決算)	(決算)	(決算)	(計画)		
手段	① 主な 23年度 教室を 度当初 へチラ	は活動 実績(2 月 2回 には中止 にを渡し	23年度 継続的 となっ し参加	に行った主な活動) に実施。(震災の影響で年 た。6月から再開)対象者 勧める。 欠席者は地区担当	→ ©	教室開催回数				回	(決算)	23	20	(計画) 24	(計画)	
手	① 主な 23年度 教度 つ 保健師	活動 実績(2 月2回編 は中止 シを渡し が様子	23年度 継続的 となっ を加い 確認す	に行った主な活動) に実施。(震災の影響で年 た。6月から再開)対象者 勧める。 欠席者は地区担当 「る。	→ ©	活動指標名					(決算)	23	(決算)	(計画) 24	(計画)	
手	① 主な 23年室当チ健年室 24年室を初ラ師度を	注活動 実績(2 月 2回川 以中 に 対 に 対 に に が は で で は で が は で が は で が は で が は り が は が は が が が が が が が が が り が り が	23年度 継続的 となっ 参加で 確認で 24年度 継続的	に行った主な活動) に実施。(震災の影響で年 た。6月から再開)対象者 動める。欠席者は地区担当 つる。 に計画している主な活動) に実施している。対象者へ	7	活動指標名教室開催回数参加者数(実/及保健師の面接数	延)			口人	(決算)	(決 算) 23 19/140	(決算) 20 29/140	(計画) 24 30/140	(計画)	
手	① 主な 23年室当チ健年室 24年室シン 24年室シン	活動 実績(2 月 2回ル はを様子 はを様子 計 2回 りを渡しる	23年度 継続な加 確認度的 24年続 動	に行った主な活動) に実施。(震災の影響で年 た。6月から再開)対象者 動める。欠席者は地区担当 たる。 に計画している主な活動) に実施している。対象者へ める。欠席者は地区担当保	7	が 活動指標名 対 数 室開催回数 が 参加者数 (実/を) 保健師の面接数 (保護者と一緒)	延) 数 に子ども	うの成長		口人	(決算)	23	20	(計画) 24	(計画)	
手段	① 主な 23年度を初ラ 教度へ保年室シャチ 24年室シャチ 24年室シャチ 24年室シャチ 24年室シャチ 24年	注活動 実績(2 月 2回 に はシを様子 が様画(2 月 2回 を渡子を 様子を 様子	23年度 継続な加 企業を 24年度的 24年度的 24年度的 3回 3回 3回 3回 3回 3回 3回 3回 3回 3回	に行った主な活動) に実施。(震災の影響で年 た。6月から再開)対象者 動める。欠席者は地区担当 トる。 に計画している主な活動) に実施している。対象者へ める。欠席者は地区担当保		が 活動指標名 教室開催回数 を 教室開催回数 を 参加者数 (実/を 保健師の面接数 (保護者と一緒 いついて話し合う)	延) 数 に子ども	うの成長		口人	(決算) 24 79/318 —	(決算) 23 19/140 19	(決算) 20 29/140 29	(計画) 24 30/140 30	(計画)	(計画)
手段	① 主な 23年度を初ラ 教度へ保年室シャチ 24年室シャチ 24年室シャチ 24年室シャチ 24年室シャチ 24年	注活動 実績(2 月 2回 に はシを様子 が様画(2 月 2回 を渡子を 様子を 様子	23年度 継続な加 企業を 24年度的 24年度的 24年度的 3回 3回 3回 3回 3回 3回 3回 3回 3回 3回	に行った主な活動) に実施。(震災の影響で年 た。6月から再開)対象者 動める。欠席者は地区担当 たる。 に計画している主な活動) に実施している。対象者へ める。欠席者は地区担当保		が 活動指標名 対 数 室開催回数 が 参加者数 (実/を) 保健師の面接数 (保護者と一緒)	延) 数 に子ども	うの成長		人のこの	(決算) 24 79/318 — 21年度	23 19/140 19	20 29/140 29 23年度	(計画) 24 30/140 30	(計画)	(計画)
手段	① 主な 23年度を初ラ師 24年度を初ラ師 24年度をシンが 2 対象 発達	注活動 実績(2 月2回止 はを様子 はかを様子 月2回と 様子 を様子 で、 ほん を 様子 を 様子 を 様子 を 後子 で した を は り と り と り と り と り と り と り と り と り と り	23年度的った。24年度的った。24年度的では、24年度の	に行った主な活動) に実施。(震災の影響で年た。6月から再開)対象者 た。6月から再開)対象者 する。 に計画している主な活動) に実施している。対象者へ める。欠席者は地区担当保 の。	→ © 1	が表情標名 対室開催回数 を加者数(実/を 保健師の面接数 (保護者と一緒に ついて話し合う が対象指標名	延) 数 に子ども	うの成長		上の一旦によっている。	(決算) 24 79/318 — 21年度 (決算)	(決算) 23 19/140 19 22年度 (決算)	29/140 29 23年度 (決算)	24 30/140 30 24年度 (計画)	(計画)	(計画)
手段	① 主な 23年度を初ラ 度を初ラ師 24年度を 3年度を 24年度を 3年度を 22 対象	注活動 実績(2 月2回止 はを様子 はかを様子 月2回と 様子 を様子 で、 ほん を 様子 を 様子 を 様子 を 後子 で した を は り と り と り と り と り と り と り と り と り と り	23年度的った。24年度的った。24年度的では、24年度の	に行った主な活動) に実施。(震災の影響で年た。6月から再開)対象者 た。6月から再開)対象者 する。 に計画している主な活動) に実施している。対象者へ める。欠席者は地区担当保 の。	→ © 1	が 活動指標名 教室開催回数 を 教室開催回数 を 参加者数 (実/を 保健師の面接数 (保護者と一緒 いついて話し合う)	延) 数 に子ども	うの成長		人のこの	(決算) 24 79/318 — 21年度	23 19/140 19	20 29/140 29 23年度	(計画) 24 30/140 30	(計画)	(計画)
手段	① 主な 23年度を初ラ師 24年度を初ラ師 24年度をシンが 2 対象 発達	注活動 実績(2 月2回止 はを様子 はかを様子 月2回と 様子 を様子 で、 ほん を 様子 を 様子 を 様子 を 後子 で した を は り と り と り と り と り と り と り と り と り と り	23年度的った。24年度的った。24年度的では、24年度の	に行った主な活動) に実施。(震災の影響で年た。6月から再開)対象者 た。6月から再開)対象者 する。 に計画している主な活動) に実施している。対象者へ める。欠席者は地区担当保 の。	→ © 1	が表情標名 対室開催回数 を加者数(実/を 保健師の面接数 (保護者と一緒に ついて話し合う が対象指標名	延) 数 に子ども	うの成長	·	上の一旦によっている。	(決算) 24 79/318 — 21年度 (決算)	(決算) 23 19/140 19 22年度 (決算)	29/140 29 23年度 (決算)	24 30/140 30 24年度 (計画)	(計画)	(計画)
手段	① 主な 23年室当子健年室シバが 東へ保護年室シバが 東へ保護年室シバが 東の 第面ど では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	(活動 実績(2 月2回止)はを様に シが計画(2 が計画(2 が計画)を様 を様と、 のもとその	23年度的った。24年度的った。24年度的った。24年度的った。24年度的では、25年間では、25年	に行った主な活動) に実施。(震災の影響で年 た。6月から再開)対象者 動める。欠席者は地区担当 たる。 に計画している主な活動) に実施している。対象者へ める。欠席者は地区担当保 か。 象にしているのか) 記がある1歳6か月~3歳位 者	→ @ 77 77 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	活動指標名教室開催回数参加者数(実/及保健師の面接数では、保護者と一緒について話し合うが対象指標名対象者数	延) 数 こ子ども 機会と	うの成長		日 人 回 単位 人	24 79/318 - 21年度 (決算) 99	23 19/140 19 22年度 (決算) 39	29 29/140 29 23年度 (決算) 49	24 30/140 30 24年度 (計画) 50	25年度(計画)	(計画) 26年度 (計画) 26年度
手段	① 主な 23年室 数字 1 全 23年室 1 会 24年室 25年 27年 27年 27年 27年 27年 27年 27年 27	注動 実績(2 月2回止じシが計2回上の が計2回と確 月2回と確 を(誰、1 のもとその (対象	23年度的 23年度的 24年に 24年に 24年に 24年に 24年に 24年に 24年に 24年に	に行った主な活動) に実施。(震災の影響で年 た。6月から再開)対象者 動める。欠席者は地区担当 トる。 に計画している主な活動) に実施している。対象者へ める。欠席者は地区担当保 の。 象にしているのか) 記がある1歳6か月~3歳位 をような状態になるのか)	→ @ 77 77 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	が表情標名 対象指標名 対象指標名 対象指標名 が対象指標名 対象者数 が成果指標名(考	延) 数 に子ども 機会と ⁻	うの成長		日 人 回 単位 人	(決算) 24 79/318 — 21年度 (決算) 99	23 19/140 19 22年度 (決算) 39	29 29/140 29 23年度 (決算) 49	24 30/140 30 24年度 (計画) 50	25年度(計画)	(計画)
手段	① 主を度を初ラ師度をバが対象面と ② 発力 ② 発力 ② 発の ③ 数 ② 発の ③ 数 ② を ② 発の ③ 数 ○ を ○ の ③ 数	(活動 実績(2) 実績(2) 実績(2) による様は、1 による (2) による (2) による (2) による (3) による (4) による (4) による (5) による (5	23年度的った。 24年続か記 する 心に 保証 の に で に で に で に で に で に で に で に で に で に	に行った主な活動) に実施。(震災の影響で年 た。6月から再開)対象者 動める。欠席者は地区担当 たる。 に計画している主な活動) に実施している。対象者へ める。欠席者は地区担当保 か。 象にしているのか) 記がある1歳6か月~3歳位 者		活動指標名教室開催回数参加者数(実/及保健師の面接数では、保護者と一緒について話し合うが対象指標名対象者数	延) 数 に子ども 機会と ⁻	らの成長 する)		日 人 日 単位 人 単位	24 79/318 - 21年度 (決算) 99	23 19/140 19 22年度 (決算) 39	29 29/140 29 23年度 (決算) 49	24 30/140 30 24年度 (計画) 50 24年度 (計画)	25年度(計画)	(計画) 26年度 (計画) 26年度
手段	① 主を度を初ラ師度をバが対象面と ② 発力 ② 発力 ② 発の ③ 数 ② 発の ③ 数 ② を ② 発の ③ 数 ○ を ○ の ③ 数	(活動 実績(2) 実績(2) 実績(2) による様は、1 による (2) による (2) による (2) による (3) による (4) による (4) による (5) による (5	23年度的った。 24年続か記 する 心に 保証 の に で に で に で に で に で に で に で に で に で に	に行った主な活動) に実施。(震災の影響で年た。6月から再開)対象者 た。6月から再開)対象者 「る。 「に計画している主な活動) に実施している。対象者へめる。欠席者は地区担当保める。欠席者は地区担当保める。次席者は地区担当保める。大席者は地区担当保める。大席者は地区担当保める。		が 活動指標名 対象室開催回数 が 教室開催回数 が 参加者数(実/及) (保護者と一緒について話し合うが が 対象指標名 対象者数 (保護者と一緒について話し合うが が 成果指標名(考 (保護者と一緒につう機会と	延) 近子ども 機会と きえ方) 数 子どもの ナる)	らの成長 する)	幸につい	回 人 回 単位 人 単位	24 79/318 - 21年度 (決算) 99	23 19/140 19 22年度 (決算) 39 22年度 (決算)	29 29/140 29 23年度 (決算) 49 23年度 (決算)	24 30/140 30 24年度 (計画) 50	25年度(計画)	(計画) 26年度 (計画) 26年度
手段	① 主を度を初ラ師度を必ずが対象 ② 発力 ② 発力 ② 発力 ② 発力 ② 発力 ③ 数達に関	(活動 実績(2) 実績(2) 実績(2) による様は、1 による (2) による (2) による (2) による (3) による (4) による (4) による (5) による (5	23年度的った。 24年続か記 する 心に 保証 の に で に で に で に で に で に で に で に で に で に	に行った主な活動) に実施。(震災の影響で年た。6月から再開)対象者 た。6月から再開)対象者 「る。 「に計画している主な活動) に実施している。対象者へめる。欠席者は地区担当保める。欠席者は地区担当保める。次席者は地区担当保める。大席者は地区担当保める。大席者は地区担当保める。	→ (© 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	が 活動指標名 「教室開催回数 「参加者数(実/及) 「保健師の面接数 「保護者と一緒について話し合う」 「対象指標名 「対象者数 「保健師の面接数 「保健師の面接数 「保護者と一緒にごうり機会と、数室から個別の系	延) 妖子ども 機会と きえ方) あ子する 運動	らの成長する) 成長発達	を につい 後関な	日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	24 79/318 - 21年度 (決算) 99	23 19/140 19 22年度 (決算) 39 22年度 (決算)	29 29/140 29 23年度 (決算) 49 23年度 (決算)	24 30/140 30 24年度 (計画) 50 24年度 (計画) 30	25年度(計画)	(計画) 26年度 (計画) 26年度
手段	① 主を度を初ラ師度を必ずが対象 ② 発力 ② 発力 ② 発力 ② 発力 ② 発力 ③ 数達に関	(活動 実績(2) 実績(2) 実績(2) による様は、1 による (2) による (2) による (2) による (3) による (4) による (4) による (5) による (5	23年度的った。 24年続か記 する 心に 保証 の に で に で に で に で に で に で に で に で に で に	に行った主な活動) に実施。(震災の影響で年た。6月から再開)対象者 た。6月から再開)対象者 「る。 「に計画している主な活動) に実施している。対象者へめる。欠席者は地区担当保める。欠席者は地区担当保める。次席者は地区担当保める。大席者は地区担当保める。大席者は地区担当保める。	→ (© 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	が 活動指標名 対象室開催回数 が 教室開催回数 が 参加者数(実/及) (保護者と一緒について話し合うが が 対象指標名 対象者数 (保護者と一緒について話し合うが が 成果指標名(考 (保護者と一緒につう機会と	延)	らの成長 する) 成長発達 で医療料	幸につい 後関な	日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	24 79/318 - 21年度 (決算) 99	23 19/140 19 22年度 (決算) 39 22年度 (決算)	29 29/140 29 23年度 (決算) 49 23年度 (決算)	24 30/140 30 24年度 (計画) 50 24年度 (計画)	25年度(計画)	(計画) 26年度 (計画) 26年度
手段	主を度を初ラ師度をいが対定へ保証 変化性年室とが対対定 変型 変型 変型 変型 変型 変型 変型 変型 変型 変数 変数 <tr< td=""><td>(活動) 実績(2) 実月はを様面(2) を様面(2) を様面(2) を様面(2) を様面(2) を様面(2) をもとる(3) かることをは、</td><td>3年度的った。 全性によるが認定を対して、 24年に 24年に</td><td>に行った主な活動) に実施。(震災の影響で年た。6月から再開)対象者 動める。欠席者は地区担当 たる。 に計画している主な活動) に計画している。対象者へ める。欠席者は地区担当保 かる。欠席者は地区担当保 か。 象にしているのか) 記がある1歳6か月~3歳位 をような状態になるのか) 達者が、子どもの育児や発 炎でき、育児不安を軽減で</td><td></td><td>が表情標名 対象者数(実/を) (保護者と一緒) (保護者と一緒) (大学) (保護者を一緒) (大学) (保護者を一緒) (保護者を一緒) (保護者を一緒を一番を一様の一般であるとのでは、企業力をものできる。 (大きないのできる) (大きないのできる) (大学) (保護人のできる) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学</td><td>延) 数 次 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大</td><td>の成長 する) 成長発え でき え 援ができ</td><td>幸につい 後関な</td><td>日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日</td><td>(決算) 24 79/318 - 21年度 (決算) 99 21年度 (決算)</td><td>23 19/140 19 22年度 (決算) 39 22年度 (決算)</td><td>29 29/140 29 23年度 (決算) 49 23年度 (決算)</td><td>24 30/140 30 24年度 (計画) 50 24年度 (計画) 30</td><td>25年度(計画)</td><td>26年度 (計画)</td></tr<>	(活動) 実績(2) 実月はを様面(2) を様面(2) を様面(2) を様面(2) を様面(2) を様面(2) をもとる(3) かることをは、	3年度的った。 全性によるが認定を対して、 24年に 24年に	に行った主な活動) に実施。(震災の影響で年た。6月から再開)対象者 動める。欠席者は地区担当 たる。 に計画している主な活動) に計画している。対象者へ める。欠席者は地区担当保 かる。欠席者は地区担当保 か。 象にしているのか) 記がある1歳6か月~3歳位 をような状態になるのか) 達者が、子どもの育児や発 炎でき、育児不安を軽減で		が表情標名 対象者数(実/を) (保護者と一緒) (保護者と一緒) (大学) (保護者を一緒) (大学) (保護者を一緒) (保護者を一緒) (保護者を一緒を一番を一様の一般であるとのでは、企業力をものできる。 (大きないのできる) (大きないのできる) (大学) (保護人のできる) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学	延) 数 次 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	の成長 する) 成長発え でき え 援ができ	幸につい 後関な	日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	(決算) 24 79/318 - 21年度 (決算) 99 21年度 (決算)	23 19/140 19 22年度 (決算) 39 22年度 (決算)	29 29/140 29 23年度 (決算) 49 23年度 (決算)	24 30/140 30 24年度 (計画) 50 24年度 (計画) 30	25年度(計画)	26年度 (計画)
手段 目的	① 主な度を初ラ師度を必ずが 対 達子 ② 発の ③ 教達さ ④ さら	(活動) 実績(2 実績(2) 月はかを様し(2) が計月を様く(2) が計月を様く(3) が計月を様く(4) が計月を様く(5) が計月を様く(5) が対力があることがあることがあることがあることがあることがあることがあることがあること	23年度的の加速を対して、24年による。23年度的の加速を対して、24年には、24年には、24年には、24年によりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに	に行った主な活動) に実施。(震災の影響で年た。6月から再開)対象者 動める。欠席者は地区担当 た。 に計画している主な活動) に実施している。対象者へ める。欠席者は地区担当保 の。 象にしているのか) 記がある1歳6か月~3歳位者 ような状態になるのか) 達が、子どもの育児や発 炎でき、育児不安を軽減で		活動指標名 教室開催回数 参加者数(実/教 保健師の面接接(保護者と一緒) 対象指標名 対象者数 が成果指標名(考 保健離のの一緒にて話し合うが 対象指標名 が対象を対象を対象を対象を対象を対象となった、途切れることの 上位成果指標 と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	延) 数子どもの た を たないする を たないする を ないのな 名(考え	らの成長 する) 成長発達 そを医療 それでき ができ	養関な 後関な () () () () () () () () () (回人回種人	(決算) 24 79/318 - 21年度 (決算) 99 21年度 (決算)	23 19/140 19 22年度 (決算) 39 22年度 (決算)	29 29/140 29 23年度 (決算) 49 23年度 (決算)	24 30/140 30 24年度 (計画) 50 24年度 (計画) 30 6	25年度(計画)	26年度 (計画)
手段	① 主な度を初ラ師度を必ずが対 達子意 に関② 発の③ 教達き4 子② 子5 に関	注動 実績(2) 実利はを様しに 対対はなを様面に 対対はなるは、 対対はなるは、 対が計りを様しに が計りを様しに が対して が対して が対して が対して が対して が対して が対して が対して が対して が対して が対して ががして がいが、 がいがが、 がいが、 がいががががが、 がいがが、 がいがががががががががが	23年度的の加速を対して、24年による。23年度的の加速を対して、24年には、24年には、24年には、24年によりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに	に行った主な活動) に実施。(震災の影響で年た。6月から再開)対象者 動める。欠席者は地区担当 たる。 に計画している主な活動) に計画している。対象者へ める。欠席者は地区担当保 かる。欠席者は地区担当保 か。 象にしているのか) 記がある1歳6か月~3歳位 をような状態になるのか) 達者が、子どもの育児や発 炎でき、育児不安を軽減で		活動指標名 教室開催回数 参加者数(実/及) 保健護者と一合うが 対象指標名 対象者数 の成果指標名(表) 対象指標名 対象者数 の成果指標の一緒に一合うが 対象指標名 対象者数 の成果指標の一緒に一て、 対象者数 の成果指標の一緒に一て、 大きないも個別の系へ、途切れるとと として、 大きないる生	延) 数 子 と を と を と を か と で と で と で と で と で と で と で か か か か か	らの成長 する) 成長発達 そを医療 それでき ができ	養関な 後関な () () () () () () () () () (回 人 回 単位 ハ ど: 思	24 79/318 - 21年度 (決算) 99 21年度 (決算) - - 21年度 (決算)	23 19/140 19 22年度 (決算) 39 22年度 (決算) 4 22年度 (決算)	29 29/140 29 23年度 (決算) 49 23年度 (決算) 29 6	24 30/140 30 24年度 (計画) 50 24年度 (計画) 30 6	25年度 (計画) 25年度 (計画)	26年度 (計画) 26年度 (計画)
手段	① 主な度を初ラ師度を紹う師度を必ずが 対 達子 ② 発の ③ 教達き ④ 行き ② 大健年室シが 達子 ② 大健年室シが 達子 ② 大健年室シが を 子で ○ 大き ○ 大き ○ 大き ○ 大き ○ 大き ○ 大き ○ おき ○ こと ○ こ	注動 実績(2) 実利はを様しに 対対はなを様面に 対対はなるは、 対対はなるは、 対が計りを様しに が計りを様しに が対して が対して が対して が対して が対して が対して が対して が対して が対して が対して が対して ががして がいが、 がいがが、 がいが、 がいががががが、 がいがが、 がいがががががががががが	23年度的の加速を対して、24年による。23年度的の加速を対して、24年には、24年には、24年には、24年によりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに	に行った主な活動) に実施。(震災の影響で年た。6月から再開)対象者 動める。欠席者は地区担当 た。 に計画している主な活動) に実施している。対象者へ める。欠席者は地区担当保 の。 象にしているのか) 記がある1歳6か月~3歳位者 ような状態になるのか) 達が、子どもの育児や発 炎でき、育児不安を軽減で		活動指標名 教室開催回数 参加者数(実/教 保健師の面接接(保護者と一緒) 対象指標名 対象者数 が成果指標名(考 保健離のの一緒にて話し合うが 対象指標名 が対象を対象を対象を対象を対象を対象となった、途切れることの 上位成果指標 と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	延) 数子どもの を を を を を を を を を を を を を	が 成長発達 ができ を を を を を を を を を を を を を	養関な 後関な () () () () () () () () () (回人回種人	24 79/318 - 21年度 (決算) 99 21年度 (決算)	23 19/140 19 22年度 (決算) 39 22年度 (決算) 19 4	29 29/140 29 23年度 (決算) 49 23年度 (決算) 29 6	24 30/140 30 24年度 (計画) 50 24年度 (計画) 30 6	25年度 (計画) 25年度 (計画)	26年度 (計画) 26年度 (計画)

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始 まったか?

旧旭市では平成7年から、子どもと遊ぶのが苦手 だったり、近所に一緒に遊んだり育児について相 談できる人がいない親子を対象に、子育ての情報 や遊びの場を提供することを目的として開始され

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠 法令等)はどう変化しているか?開始時期 あるいは5年前と比べてどう変わったか?

「遊びの場」としては保育所・幼稚園の園庭開放や つどいの広場などがある。しかし近年発達障害に ついて社会的に知られるようになり、保護者からも 子どもの発達に関する心配事がよく聞かれるように なった。平成22年度から、教室の見直しを行い現在の内容になった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業 対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が 寄せられているか?

参加者からは「子どもの成長を実感できる」「○○ができるようになってうれしい」「家ではできない遊びが体 験できて良かった」といった感想がよく聞かれる。

	事務事業名	育児支援事業 親子遊び教室						課名	健康管理課	班名	支援班
2	評価(Check1)担		価						ı		1
	① 政策体系との整 この事務事業の目的! びつくか?意図するこ ついているか?	合性 は市の政策体系に結	□ 見直し ☑ 結びご 発達遅滞		⇒【 ふる児を持っ		, は、他児と比				の面で困難を感じ さるよう支援する場
妥当	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・ 拡充すべきか?		□ 見直し余地がある ⇒【理由】 □ □ 適切である ⇒【理由】 □ □ 適切である ⇒【理由】 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □								
益	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならない のか?税金を投入して実施すべきか?		□ 見直し余地がある ⇒【理由】 □ □ 図 妥当である ⇒【理由】 □ □ 妥当である ⇒【理由】 □ □ 妥当である ⇒【理由】 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □								
	④ 成果の現状水差 あるべき水準や目標に 隣市や類似団体と比り	✓ 妥当で 参加者とい かけたり、	は少なくとも1₪ 個別の発達相	⇒【 回は必ず仍 目談を勧め	たりするこ	・ 面接するよう とで継続的	な支援が行え	た親子の状況に属 ている。近隣市で に応じて開催回数	も同様の	対室が開催されて	
対性	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向 事務事業を取り巻く環 とどうか?	上が期待できるか? 境変化等を考慮する	✓ 活動量→ 活動量教室内容	量を増やせばた 量を増やさなく 量を増やしたり を変更して今かるように見直し	ても、やり J、活動を二 年で3年目	方を工夫 エ夫したり になる。糸	しても、今じ	上成果は向_		⇒【理由 ⇒【理由 ⇒【理由 〔今後さら] 5)] 5)
評価	⑥ 類似事業との統 可能性 目的を達成するには、 (民間・国県を含む)に ↓ 他に手段がある場合	この事務事業の他	(1) <u>a</u> (2) [F段がある 事務事業名:(□ 統廃合ができ ・ 連携ができ	できる きる 合・連携し ⁻	: : : ている	⇒【理由】 つ ⇒【理由】 つ	⊦ ⊦	豪育施設(マザー)	ズホーム))
	(1)具体的にはどのよう (2)類似事業との統廃 事業との連携を図るこ 上が期待できるか?	合ができるか?類似 とにより、成果の向	第三保育 申込みは あるとのこ 他に手		ご心配のあい。 い。来年度 定。今後の ⇒【	る親子対 変、社会福	祉課で発達 去について要	サークル」を実 障害児の療育	E施しているが、現 所施設「マザーズオ		
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか?(経費の精査、 加調仕様の適正化、回数削減、住民の協 力、アウトソーシングなど) (8) 人件費の削減余地		✓ 削減系回数削減ず来所しがいることか	<mark>余地がない</mark> すると、場所に	⇒【 こ慣れにく きないで終 のボランテ	【理由】 つ い・感覚が そわってし	・ 過敏のある児 まうことがある は適切では	る。参加者が発	に慣れるまで時間 経達障害等の不安		遊びの輪に入れ 隻者を対象として
評価	(表面トータルコスト やり方の工夫(業務プ や臨時職員の活用・委 の延べ業務時間を削	の人件費部分) ロセスの改善など) を託により、正規職員 減できないか?	☑ 削減分 現在すで 困難な発 る。	余地がない に臨時職員(伝達面の相談に	→【 保育士、心 【は心理相	【理由】 う 心理相談員 談員が対	・ ()を活用して 応している。		進行・遊びは保育 、数に応じて正規		
平性評	⑨ 受益機会・費用 適正化余地 事業の内容が一部の 不公平ではないか? 公正になっているか?	受益者に偏っていて 受益者負担が公平・	☑ 公平・ 広報等で	、余地がある 公正である 一般に周知は かけて参加を	⇒【 は行っている		, し乳幼児健		%程度)で、言葉等	等の発達面	「 に心配のある親
3	③ 効率性 ☑	办評価結果 ☑ 適切 □ 見直 ☑ 適切 □ 見直 ☑ 適切 □ 見直	結果と総括 し余地あり し余地あり し余地あり し余地あり	(2)全体総 乳幼児期の いては、支持 連携をとり、)発達障害 援の場が2	Fについて 少なく継続	、特に診断の していく必要	要がある。 次年			が強いケースにつ 等も確認しながら
	今後の方向性(事 1)今後の事業の方向 1目的再設定 1事業のやり方改善日 1事業のやり方改善日 1受益機会の適正化 1廃止・休止	9性(複数選択可) こよる成果向上 こよる事業費削減	※2 □ 行政関 ☑ 事業統 □ 事業の	2〜3年後を目 1与の見直し 1廃合・連携(ほ 1分り方改善に 1担の適正化	関連事業:	マザーズ				上・休止の場	よる期待成果 場合は記入不要) コスト 滅 維持 増加
(1) (2) (3))	こ合わせた途切れる く。	ることのない		のために、					維持低下	
(1) < (2) (3))	こなるのか(相談体	制、職員配	置、療育の内	的容等)不明	明確である	ことから、情	報収集しつつ	連携体制やケー	ス連絡等の	の方法を整えてい